社会科
４～６段階

社会科の目標（上段は学習指導要領からの目標，下段は本校での指導の形態ごとの目標）

小学部	
中学部	社会の様子，働きや移り変わりについての関心と理解を深め，社会生活に必要な基礎的な能力と態度を育てる。
高等部	社会の様子，働きや移り変わりについての関心と理解を一層深め，社会生活に必要な能力や態度を育てる。

内容の構成（観点の構成）

小学部相当	1段階							
	2段階							
	3段階							
中学部相当	4段階	集団生活と役割ときまり		公共施設	社会の出来事	地域の様子や社会の変化	外国の様子	29
高等部相当	5段階	集団生活と役割・責任	きまり	公共施設	社会的事象	我が国の地理・歴史	外国の様子	31
	6段階							33

社会科 4段階

観点	集団生活ときまり		公共施設		社会の出来事	
段階	内容	指導内容	内容	指導内容	内容	指導内容
4段階	集団生活の中での役割を理解し，自分の意見を述べたり，相手の立場を考えたりして，互いに協力し合う。	・学級や学校の集団において，その生活の流れに乗り，友達と交流し，共に活動する。	日常生活に関係の深い公共施設や公共物などの働きがわかり，それらを利用する。	・公共施設（公園，広場，公民館，児童館，市役所，学校，図書館，郵便局，警察署，消防署，病院など）や公共物（机，椅子，図書，コンピュータ，電車，バス，新聞，テレビ，ラジオ，インターネットなど）のおよその役割や仕組を知り，自分の生活の中に取り入れる。それらが社会生活をより快適に営むのに役立つことを理解する。	日常生活で経験する社会の出来事や情報メディアなどに興味関心を持ち，生産，消費などの経済活動に関する初歩的な事柄を理解する。	・生徒の住む地域社会で見聞きする様々な出来事（居住地付近の出来事，使用している交通機関，季節の話題，地域社会で催される行事など）の情報や新聞，テレビ，ラジオ，ホームページのコンテンツなどから得られる情報を通して，世の中のおよその流れをとらえる。
		・役割を分担して仕事をする，困ったとき，わからないときは人に尋ねたり教えてもらったりする，友達などが困っているのを見たときは，手助けをするなどの具体的な活動を通して，助け合って生活することが必要なことを理解する。				・米，野菜，果物を作る農家の活動，海で魚をとる漁師の活動，工業製品を作る工場の活動，それらの生産物を市場に運ぶ運送活動，運ばれた生産物を販売する活動などを実際に見学したり，テレビ，ビデオ，インターネットなどを活用し，自分の生活との関わりについて興味・関心をもつ。
		・身近な問題を仲間と話し合う中で，自分の意見を述べたり，相手の意見を聞いたりするなどして互いの意思の疎通を図る。				・清涼飲料水や交通機関の切符などの自動販売機の取り扱い，地域の大規模な小売店やコンビニエンスストアの利用などの活動によって，生徒の興味・関心を高める。
	社会生活に必要ないろいろな決まりがあることを知り，それらを守る。	・学校や地域社会で円滑な生活を送る上での基本的なきまり（時間割に沿って行動する，月や週のきまりを知る，道路の右側を歩く，信号にしたがって，道路を横断する，列で並ぶなど）を知り，生活の中でそれを守ることを身に付ける。				

観点	地域の様子や社会の変化		外国の様子	
段階	内容	指導内容	内容	指導内容
4段階	自分が住む地域を中心に，我が国のいろいろな地域の様子や社会の移り変わりに関心をもつ。	・自分の住む市（町・村）や学校のある市（町・村）にある産業と比べたりして，それぞれの地域の特色や様子をとらえる。	外国の様子や世界の出来事などに興味や関心をもつ。	・外国の自然，気候，風土，人々の生活などを知り，外国の文化や習慣，ものの考え方の違いを理解する。
		・簡単な絵地図を見たり，交通の路線図を書いて調べたりする活動を通して，地域の道路の様子やそれが他の地域と結びついていることをとらえる。		・世界の国の政治，経済，文化，スポーツなどの情報を，新聞，テレビ，インターネットなどから得て視覚的に理解を深める。
		・家庭，学校，地域社会など生徒の身近な環境の時間的な移り変わりや人々の生活の変化に気付く。（昔の衣服や生活の道具と現在の衣服や生活の道具の違いを調べる）		

観点	集団生活と役割・責任		きまり		公共施設	
段階	内容	指導内容	内容	指導内容	内容	指導内容
5	相手や自分の立場を理解し，互いに協力して役割や責任を果たす。	・集団の中で自分の役割を果たす際に，相手のことを考えながら行動する。	社会や国にはいろいろなきまりがあることを知り，それらを適切に守る。	・社会生活を快適に送るために定められた，学級，学校，町内，地域社会，日本国憲法などのきまりを守ることが，秩序ある社会生活を保つことにつながることを理解する。	生活に関係の深い公共施設や公共物などの働きを理解し，それらを適切に利用する。	・公園，広場，公民館，児童館，市(区)役所(町，村役場)，学校，図書館，郵便局，警察署(派出所)，消防署，病院などの公共施設のほかに銀行，公共職業安定所などの働きを理解し，それらを適切に利用する。
		・相手を認識することを通して，自分との関係に気付き，集団生活の中で役割を果たすためには，協力することが必要であることが分かる。				・机，いす，ロッカーなどの学校の共有備品，電車やバスなどの公共交通機関，公衆電話のほか，新聞，テレビ，ラジオ，コンピュータ等の情報機器，電気・ガス・水道などの働きを理解し，適切に利用する。
						・公共施設や公共物などが社会生活をより快適に営むのに必要な物であることを知り，生活に活用する。
						・手紙や年賀状，暑中見舞いを出すために郵便局で切手やはがきを買う，拾得物を警察署(派出所)に届ける，テレホンカードを使用して自宅や友達の家へ電話をかける，ICカードを利用して電車やバスに乗る，ICカードに入金(チャージ)をする，自動販売機で目的地までの交通機関の乗車券を買う。

観点	社会的事象		我が国の地理・歴史		外国の様子	
段階	内容	指導内容	内容	指導内容	内容	指導内容
5	政治，経済，文化などの社会的事象や情報メディアなどに興味や関心をもち，生産，消費などの経済活動に関する基本的な事柄を理解する。	・情報通信ネットワークを利用して興味のある情報に触れることで，社会一般の出来事にも興味・関心をもつ。	我が国のいろいろな地域の自然や生活の様子を理解し，社会の変化や伝統に関心をもつ。	・国内各地の主な道路や建物，地域にある主な山脈，河川及び平野，地域の簡単な地図や交通の路線図，自分が住んでいる市(町，村)や県(都，道，府)の位置，人々の暮らし方などを理解する。	外国の自然や人々の生活の様子，世界の出来事に関心をもつ。	・新聞，テレビ放送，ラジオ放送，情報通信ネットワークなどから得られる外国の自然，政治，経済，文化，スポーツ，主な出来事などに関心をもつ。
		・新聞，テレビ放送，ラジオ放送，情報通信ネットワークなどを利用し，世の中の流れをとらえる。		・各種の災害や環境について関心をもち，日常生活の中で必要な注意事項を考えることにより，災害の予防や環境の保全の重要性について関心を深める。		・外国の情報を，テレビ放送や情報通信ネットワークなどから得る。
		・ファミリーレストランやファーストフード店などの商品を具体的に取り上げ，生産，販売，消費に関する経済活動(農業，漁業，工業，商業)の基本的な事柄を理解する。		・古い建物や史跡などを見学して昔の人々の生活に関心をもつ，地域の文化財や行事，伝統芸能などを調べることで，地域社会の環境の変化及び人々の生活の変化，地域の伝統的な行事に気付く。		・外国人に対する正しい理解をする。
		・生産，流通，販売，消費などの経済活動の基本的な知識を身に付け，それらと自分の生活とのかかわりについて考える手掛かりとする。				・世界の国々の自然や生活の様子　を知ることで，それらの国に住む人々の暮らしの様子，言語や文化の違いなどに気付いたり，それらの国の時事問題に興味・関心をもつ。
						・外国と我が国との関係について考えたり，国際連合や国と国との外交の役割を知ったりして，世界の国々が協力し合うことの大切さを知る。

観点	集団生活と役割・責任		きまり		公共施設	
段階	内容	指導内容	内容	指導内容	内容	指導内容
6	個人と社会の関係が分かり，社会の一員としての自覚を持つ。	・学校や地域社会の中での自分の位置を理解し，行動する。	社会の慣習，生活に関係の深い法や制度を知り，必要に応じて生活に生かす。	・町内のきまり，冠婚葬祭，夏祭り，盆，正月といった地域におけるきまりや季節の行事を知り，必要に応じて生活に生かす。	公共施設や公共物などの働きについての理解を深め，それらを適切に利用する。	・キャッシュカードで現金自動預払い機を利用する，銀行で現金を振り込む，郵便局で速達や書留郵便物の手続きをする，市(区)役所(町，村役場)で住民票を入手する，情報通信ネットワークを利用して公共施設の機能，場所，交通経路を調べる，時刻表や交通路線図をもとに交通機関を適切に乗り継いだりするなどの技能を身に付ける。
		・学校や地域の青年学級のいろいろな委員や係の仕事を行うことで，その構成する組織や団体を意識する。		・町内でのゴミ出しや地域の一斉清掃を行ったり，地域の祭りに参加する。		・公共施設が地域に立地する意味やそれらの利用が余暇の有効利用につながることなどが分かる。
		・学習課題を班やグループで討議し，全体の流れの中で自分の意見をまとめ述べるなどの活動を通して，初歩的な社会組織の仕組みに関する知識を身につけ，所属集団の一員である自覚をもつ。		・自動車を運転するためには自動車運転免許が必要であること，クリーニングや理容のように職業によっては各種の資格が必要であること，国(都，道，府，県，市，区，町，村)の選挙の仕組み，各種の年金や保険，税金，療育手帳・身体障害者手帳等の福祉制度など，生活に結び付いた法や制度を知る。		

観点	社会的事象		我が国の地理・歴史		外国の様子	
段階	内容	指導内容	内容	指導内容	内容	指導内容
6	政治，経済，文化などの社会的事象や情報メディアなどに興味や関心を深め，生産，消費などの経済活動に関する事柄を理解する。	・社会一般の出来事と自分の生活とのつながりに関心をもつ	・地図や各種の資料などを活用し，我が国のいろいろな地域の自然や生活の様子，社会の変化や伝統を知る。	・地図や地球儀，各種グラフや図表などの資料の積極的な活用を図る。	各種の資料を活用し，外国の自然や人々の生活の様子，世界の出来事について知る。	・新聞，テレビ放送，ラジオ放送，情報通信ネットワークなどから得られる各種の情報を自分で利用するなどして，外国の様子が理解する。
		・ボランティア活動に参加する，劇場で好きな映画を見るなど，文化的な活動への関心を高める。		・古い地図と最新の地図とを比べる，人口の変化の様子をグラフから読み取るなど，現在と過去を比較することにより，社会の様子がどのように変化しているか，生活や文化がどのように変化したかを調べる。・資料を利用して環境や人々の生活の様子がどのように変化しているかを調べる。		・外国の自然や人々の生活の様子，世界の出来事について，積極的に情報を活用する態度を身に付ける。
		・清涼飲料水，乗車券などや大規模な小売店やコンビニエンスストアで，カードや電子マネーを利用する。。		・地図や地球儀，各種グラフや図表などの資料，情報通信ネットワークなどを活用して衛星写真等を資料とするなどして，日本各地の地形の特徴を知る，地図や交通路線図などを見て目的地に行く方法を考える，地図や地球儀から我が国の位置や距離を知るなどして，いろいろな地域の様子を理解し，その特徴をとらえる。		・地図や地球儀などでその国名と位置を確認するなどして，我が国の国旗や外国の国旗に対する関心をもつ。
		・奉仕的な活動に参加し，社会奉仕の精神を身に付け，社会の一員としての自覚，他人との共感，社会に役立つ喜びを知る。		・各種の歴史的資料を見ることにより，地域や国の移り変わりに関心をもち，社会の変化に気付く。		・多様な文化を尊重できる資質や態度を身につける。
				・国内のいろいろな地域と自分たちの住む地域とを，各種資料を用いることにより，それぞれの地域の気候，風土にあった生活があることに気付く。		・在住の外国人に積極的に働きかけ，共に活動する。
				・地域にも様々な地域があり，すべてが自分たちの住む地域と同様ではないこと，そこには，それらの地域に住む人々の生活の知恵が生かされていることを知る。		
				・地域の伝統的な行事の見学やその行事への参加などのほか，我が国の代表的な伝統芸能をビデオ等により鑑賞したり，身近な伝統芸能を実際に取り入れたりする。		